

# NEWS RELEASE

2018/11/27 5:00A.M.  
株式会社キョードーメディアス

報道関係者各位

## 新日本製薬 presents SONGS&FRIENDS 小坂忠『ほうろう』を再現するライブ開催！ ユーミン、矢野顕子、槇原敬之、Char、さかいゆうほか豪華共演 2019年春、WOWOWで放送決定！



撮影：中島英雄

11月26日、武部聡志プロデュースによる一夜限りのコンサート「新日本製薬 presents SONGS & FRIENDS」が東京国際フォーラム ホールAで開催された。「SONGS & FRIENDS」は、武部聡志が選ぶ『100年後も聴き続けてほしいアルバム』、つまり“名盤・名作”を、その音楽の遺伝子を受け継ぐアーティストたちが再現するというプレミアムなコンサート。今年3月に、第1弾として荒井由実の『ひこうき雲』をフィーチャーし開催されたが、今回は第2弾。フィーチャーされるアルバムは、1975年にリリースされた小坂忠の『ほうろう』。斬新なサウンド、表現力豊かなハイレベルなボーカル、そしてその後の日本のミュージックシーンを作り上げるミュージシャンたちの演奏。発売から40年を超えても、聴くたびに新しい衝撃を与えてくれる名盤だ。総合演出は第1弾に続いて、松任谷正隆が担当。



撮影：西岡浩記

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 村越 [murakoshi@kyodotokyo.jp](mailto:murakoshi@kyodotokyo.jp)

## NEWS RELEASE

大きく分けて4部構成になっている今回のコンサート。鬼無宣寿ゴスペルクワイアによる「You Are So Beautiful」、そして小坂の娘・Asiahのボーカルと武部聡志のピアノによる「Unforgettable」からスタートした第1部は、1972年に結成された「小坂忠とフォーゴヨーハーフ」のメンバーが登場。松任谷正隆、林立夫、後藤次利、駒沢裕城という豪華メンバーと一緒にアルバム『もっともっと』に収録されている「好きなんだから」「どろんこまつり」を演奏。さらに、その頃から親交があった高橋幸宏を呼び込み、「からす」も披露した。



撮影：三浦麻旅子

第2部は、ゲストミュージシャンたちが武部バンド（武部聡志、小倉博和、根岸孝旨、屋敷豪太）の演奏で、小坂の楽曲を独自の解釈で歌い、演奏するコーナー。さかいゆうによる「氷雨月のスケッチ」、田島貴男を加えてソウルフルに歌い上げた「流星都市」、槇原敬之によるスライ・ストーン風アレンジの「機関車」、Charがギターと歌で魅せた「Hot or Cold」など、オリジナルとは違った魅力を感じさせてくれた。



撮影：中嶋英雄



撮影：中嶋英雄

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 村越 [murakoshi@kyodotokyo.jp](mailto:murakoshi@kyodotokyo.jp)

## NEWS RELEASE



撮影：中嶋英雄



撮影：中嶋英雄

第3部はアコースティックコーナー。ここで登場したのは、小坂の1stソロアルバム『ありがとう』にスタジオミュージシャンとして参加していた荒井由実。



撮影：三浦麻旅子

ステージに登場したユーミンは、「六本木に『SPEED』というディスコがあって、そこにエイプリル・フールというバンドで出てらしたのを見た、中学生の時に」と初対面のエピソードを語った。「その忠さんのエイプリル・フールを見て、すごいかっこいい!と思った。ロン毛のパンチで、チャイナサンダルを履き潰していて、パンタロンを履いて、ヒッピーでしたね。ベースが細野（晴臣）さんで、ドラムが松本（隆）さんで。洋楽みたいって言い方も変だけど」と、続けてその当時の印象を語った。さらに「有名な話ですけど、はっぴいえんどのボーカルに本当は誘われてたんでしょ?」と質問をすると、小坂は「そういう将来のバンド活動の話をした時も、一緒にやるというハッキリとした話はなかった」と答えたが、「でも、松本さんはそう言ってたよ」とユーミンが言うと、「じゃあ、ハッキリ言って欲しかったな（笑）」と答えて会場を和ませた。その流れで、小坂と2人で「みちくさ」を聴かせてくれた。その後も、BEGIN や矢野顕子が登場するなど、豪華なアーティストリレー

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 村越 [murakoshi@kyodotokyo.jp](mailto:murakoshi@kyodotokyo.jp)

# NEWS RELEASE

は続いた。



撮影：三浦麻旅子

第4部はレジェンドバンドのコーナー。松任谷正隆、武部聡志、鈴木茂、林立夫、小原礼と「流星都市」「氷雨月のスケッチ」を、吉田美奈子を呼び込んで「しらけちまうぜ」を、尾崎亜美が登場して「機関車」を演奏。そして『ほうろう』のプロデューサーを務めた細野晴臣が満をじして登場。「本当に『ほうろう』のマルチトラックを聴いた時に、感激しました。細野くんのベースが」「いつの話?」「2010年」「あ、あれね。いいアルバムだね」「20代の子どもの演奏が素晴らしい」「20代っていうのはピチピチしてますから(笑)」と会話し、「音楽はね、年取っても良くなる。渋くなる。ますます歌、いいですよ。素晴らしい」と細野が話した後、「ふうらい坊」「ほうろう」を演奏した。そして、「Jesus Loves Me~Amazing Grace」で本編を締めくくった。

ここまででも十分豪華な内容だったが、アンコールでは出演者全員が登場し、「ゆうがたラブ」を、ゲストミュージシャンたちのソロを交えて聴かせるという大サービス。そして、小坂と武部による「You are so Beautiful」が、映画のエンドロールのように、この伝説的な一夜の余韻を味わせてくれた。

“奇跡”が裏テーマだとMCで語っていた通り、レジェンド級のミュージシャンたちが一堂に会したこのコンサートはまさに奇跡と言って過言ではない。

このコンサートの模様は2019年春にWOWOWで放送されることが決定している。

(文：田中隆信)



撮影：西岡浩記

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 村越 [murakoshi@kyodotokyo.jp](mailto:murakoshi@kyodotokyo.jp)

# NEWS RELEASE

## 【公演情報】

■公演タイトル：新日本製薬 presents SONGS&FRIENDS 小坂忠「ほうろう」



撮影：西岡浩記

■開催：2018年11月26日（月）[開場]18時/[開演]19時

■会場：東京国際フォーラム ホールA

■主催：WOWOW/キョードー東京/ワイズコネクション/産経新聞社/ぴあ

■特別協賛：新日本製薬 株式会社

■後援：J-WAVE、ニッポン放送

■特別協力：TOKYO FM

■制作：WOWOW/ハーフトーンミュージック

■出演：

小坂忠、荒井由実、Asiah、尾崎亜美、さかいゆう、高橋幸宏、

田島貴男 (ORIGINAL LOVE)、Char、BEGIN、槇原敬之、矢野顕子

後藤次利 (from フォージュオーハーフ)

駒沢裕城 (from フォージュオーハーフ)

吉田美奈子

鈴木茂 (from ティン・パン・アレー)

林立夫 (from ティン・パン・アレー/フォージュオーハーフ)

松任谷正隆 (from ティン・パン・アレー/フォージュオーハーフ)

小原礼

武部聡志 (keyboard)、小倉博和 (guitar)、根岸孝旨 (bass)、屋敷豪太 (drums)

■プロデューサー：武部聡志

■総合演出：松任谷正隆

■オリジナルプロデューサー：細野晴臣

■公式サイト URL：<https://www.wowow.co.jp/music/songsfriends/>

報道に関するお問合せ：キョードーメディアス ☎03-3407-8105

うんりいん  
雲林院

[unriin@kyodotokyo.com](mailto:unriin@kyodotokyo.com) / 佐藤 [medias1@kyodotokyo.com](mailto:medias1@kyodotokyo.com) / 村越 [murakoshi@kyodotokyo.jp](mailto:murakoshi@kyodotokyo.jp)